

第 24 期
営業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

島根県益田市匹見町匹見イ 713 番地

株式会社ひきみ

第24期営業報告書

1. 事業内容、営業所、株式の状況、従業員の状況及び、取引先金融機関

① 事業内容

- ・ 匹見峡温泉やすらぎの湯 指定管理事業
- ・ 匹見峡レストパーク 指定管理事業
- ・ 匹見中央公園 指定管理事業

② 営業所

匹見峡温泉やすらぎの湯	島根県益田市匹見町匹見イ713番地
匹見峡レストパーク	島根県益田市匹見町匹見イ853-1
匹見中央公園	島根県益田市匹見町匹見イ1101

③ 株式の状況

発行できる株式の総数	2800株
発行済み株式の総数	1360株

④ 従業員の状況（平成30年3月31日現在）

従業員数	匹見峡温泉やすらぎの湯	20名
	匹見峡レストパーク	3名
	匹見中央公園	5名
	合 計	28名

⑤ 取引先金融機関

島根県農業協同組合匹見支店
山陰合同銀行益田支店
島根益田信用組合本店営業部

2. 第24期営業年度における営業の経過及び成果

①営業概況について

株式会社ひきみにおきましては、益田市内、匹見町内の自治会、企業へ向けて仕出し弁当を販売、匹見中央公園の運動施設を利用した合宿宿泊、また益田市の協力を得ながらインバウンドへ向けた取り組みを行って参りました。しかしながら慢性的な従業員不足から受け入れ態勢が整わず、第24期末の決算で匹見峡温泉の売上137,948千円(前年比:-3.9%)、レストパーク18,400千円(前年比:+5.8%)、中央公園16,104千円(前年比:-0.1%)となりました。会社全体の経常利益は-17,863千円(昨年差-10,438千円)という大幅な赤字を計上する結果となりました。

「益田市民カード」の登録者数は現在5,000人を超え、年間の益田市民カード利用者も約6,300人と前年と比較してもほぼ同数となっており、益田市内からの入浴客数の減少は歯止めが掛かっております。また益田市内自治会へ向けた営業活動を実施し、市内の利用促進を図ってきました。今後も益田市、匹見町を中心に協力体制を築き上げながら、地域資源を生かした集客を行い、「市民に親しまれ愛される憩いの場」としてより一層の努力を重ねていきます。

②個別状況について

〈匹見峡温泉〉

(1)入浴者

- ・周辺人口の減少による常連客の減少、また、1月、2月の厳冬の影響を受け利用者は第23期41,839人に対し第24期38,675人と-7.6%の減少となった。

(2)日帰りバック利用者

- ・県外の老人会などが日帰り宴会の傾向が強まっており、秋は増加の傾向であった。また、忘年会の利用が増加したが、新宴会、歓送迎会が減少し、第23期1,526人に対し、第24期1,352人と減少した。

(3)宿泊者

- ・昨年の夏にあった野球大会、島根県中学校総体などの特需はなくなったが、少年野球合宿やG.G.団体で宿泊者数を確保したものの、秋の集客は団体利用が9月に集中し、日帰りバックへの移行も響き、10月、11月の宿泊者数が減少、1月後半から2月にかけて大雪の影響もあり集客に遅れが生じ、第23期5,557人に対して、第24期5,308人と-4%と減少した。

〈匹見峡レストパーク〉

- ・夏期に大学の合宿利用や、企業でのバーベキュー利用が増加し、また、3月には広島大学のテニス合宿などを受け入れなど行い、ケビン利用者数は第23期1,832人に対し、第24期1,861人と対前年比+2%、食堂利用者数では第23期5,102人に対し、第24期5,570人と対前年比+9%、バーベキュー利用客数では第23期1,355人に対し、第24期1,599人と対前年比+18%と全体的に利用者数が増加した。

〈匹見中央公園〉

- ・グラウンドゴルフ場の利用者数は、依然として匹見峡温泉からの利用者に由来するところが大きく、第23期1,677人に対し第24期1,332人と減少した。
- ・野球場の利用者は堅調に推移しており、広島市内の少年野球チームの合宿や、大会などの利用もあり、第23期2,067人に対し第24期2,615人と増加している。
- ・テニスコートの利用者数は、人工芝の張替工事が終わった事、また、広島からの合宿利用が増加した事により、第23期399人に対して、第24期594人と増加した。

③まとめ

匹見峡温泉部門の売上が前年比で-5,603千円、販売管理費が+4,160千円と収支を大幅に悪化させた。売上の減少は利用者の減少によるものが主な原因であるが、販売管理費の増加については、主だった経費として、営業用車両、ホテルシステムの改修によるリース料の増加(+412千円)、旅行雑誌「ゆこゆこ」等への送客手数料の増加による広告宣伝費の増(+459千円)、送迎用バスの老朽化に伴う車両掛費の増加(1,435千円)、バイオマスボイラーの保守管理費(+842千円)、水道光熱費の増加(2,777千円)など大幅に増加している。特に水道光熱費の増加内訳については、電気料が燃料調整費の上昇により約1,390千円、ガス代約370千円、温泉燃料代約1,240千円(灯油代・薪代)となっている。バイオマスボイラーについても、まだまだ試行錯誤が必要であり、燃料費の削減の大きな効果を上げていないのが現状である。

レストパーク部門においては、県外大学の合宿や、企業の保養としてのバーベキュー利用など、全体的に利用者が増加している。

匹見中央公園においては、匹見峡温泉のグラウンドゴルフ団体の減少によりグラウンドゴルフ場の利用者に減少があるものの、野球場の利用、またそれに伴うサブグラウンドとして使用される多目的広場は大幅に利用者を伸ばしており、県外大学のテニス合宿による利用など、管理状態が良く、安価で利用できることが口コミなどで広がっており、利用者の拡大につながっている。

施設の老朽化も進んでおり、益田市と協議を行いながら、順次計画的に改修を行っていく予定であり、サービスの低下を未然に防ぐことを心がけていく。また、ホームページをリニューアルし、地元匹見の情報を発信していくことで集客に努め、地元匹見の協力を得ながら、匹見地域全体を盛り上げ「市民に愛される憩いの場」としての施設の認知を高めていけるように一層の努力を重ねていくこととする。

株式会社ひきみ 第25期事業計画書

1、 第25期営業方針

JTBの2018年旅行見通しによると「国内旅行は景況感の改善や休暇取得の促進効果も期待ができ、旅行人数は増加が見込まれます。平均消費額については、訪日外国人の民泊利用などにより都市部を中心に宿泊施設の混雑緩和が想定されること、節約志向に加えて安価な交通手段としてのLCCの利用が定着したこと、そしてホテル、旅館以外にも様々なタイプの宿泊施設が登場し、安く旅行をするための選択肢が増えていることなどから、昨年より微減と推計」とあり、また、国内旅行の回数について「回数は増える」と回答した人が若い年代（15歳～29歳）で多くなる一方で、シニア層（60～79才）で「回数は減る」と回答した人は23.1%で、前年より1.5ポイント増加していたとともに、シニア層の旅行意欲が他世代より少ないことも単価を下げる要因になると考えられます。

株式会社ひきみにおきましては、匹見峡温泉を中心とした従来の広島県、山口県を中心としたグラウンドゴルフ団体の集客に加え、自治会や老人会などへ営業活動により、新規顧客の開拓を行って参ります。また、インターネットによる集客を強化する為、ホームページのリニューアルを行い、リアルタイムに匹見峡温泉、また匹見地域のイベント情報など「匹見の魅力」を発信していくことで集客につなげると共に、地域の活性化につなげて参ります。

匹見中央公園や匹見峡レストパークの施設を活用したスポーツ合宿につきましても、利用者情報を共有しながら営業活動を行い、リピーターは勿論、新規利用者の開拓を進めて参ります。

また、匹見峡レストパークのヤマメ釣堀の復活や、月例となっております「匹見活性化会議」で地域イベントの情報などを集約し、地元資源を活用した営業活動を行い、匹見地区の観光、交流の拠点としての役割を担って参ります。

老朽化が進む施設、設備につきましては益田市との連携を密にし、故障、事故を未然に防ぎ、計画的な改修を心掛けて参ります。

益田市をはじめ、匹見地区の観光、交流の拠点として、地元にも親しまれ「市民に愛される憩いの場」として交流人口の拡大をめざし、一層の努力を重ねて参ります。

2. 匹見峡温泉やすらぎの湯の第25期基本計画

◆ 重点計画

- ・ ホームページの改修による地域イベントなど情報発信。
- ・ 益田市と連携し、米軍岩国基地や東京オリンピック、パラリンピックキャンプ誘致などの取組によるインバウンド対策を継続して推進。
- ・ 萩・石見空港を活用した首都圏との交流による誘客の促進。
- ・ 屋外舞台を活用し、神楽公演などイベントを行い集客を行う。
- ・ 匹見中央公園と連携し、野球合宿やテニス合宿の誘客。

◆ 平成30年度 数値目標

	第24期 実績	第25期 目標	備 考
入浴者数	38,675人	41,500人	イベントの強化と情報の発信等
日帰り休憩	1,352人	2,000人	G Gを含む日帰りプランの営業強化等
宿泊者数	5,308人	6,000人	合宿を中心にスポーツ団体の誘客を強化等

◆ 匹見峡温泉やすらぎの湯 収支予算書

(単位：千円)

	第23期 実績	第24期 実績	第25期 計画	前年比較
売上	143,551	137,948	156,949	19,001
期首在庫	3,922	3,474	2,936	-538
商品仕入高	37,504	38,193	41,277	3,084
期末在庫	3,474	2,936	2,936	0
売上原価計	37,952	38,731	41,277	2,546
売上総利益	105,599	99,217	115,672	16,455
人件費	61,996	59,513	62,146	2,633
販売管理費	51,681	58,324	53,363	-4,961
一般管理費計	113,677	117,837	115,509	-2,328
営業利益	-8,078	-18,620	163	18,783
営業外収益	1,732	1,197	1,500	303
営業外費用	5	6	10	4
経常利益	-6,351	-17,429	1,653	19,082

3. 匹見峡レストパークの第25期基本計画

◆ 重点計画

- ・大学サークル活動や企業の保養地として利用してもらうための営業活動を継続して実施。
- ・主に県外の大学サークルや少年野球チームへ、合宿などの営業活動の実施。
- ・フェイスブックなどSNSを利用した情報発信による集客。
- ・インターネットによる宿泊予約の受付を行い、閑散期におけるケビンの稼働率を上げる。
- ・匹見峡温泉、匹見中央公園を連携しスポーツ合宿やレクリエーション利用の集客を行う。
- ・ヤマメ釣堀を活用した体験や、食事提供による誘客。

◆ 平成30年度 数値計画

	第24期 実績	第25期 目標	備 考
ケビン	1,861人	1,950人	インターネット予約の開始等
キャンプ	621人	700人	テントサイトの整備、補修等
バーベキュー	1,599人	1,600人	合宿利用や企業の保養施設として利用を促進、宿泊者へ向けた食事の提供等
食 堂	5,370人	5,200人	

◆ 匹見峡レストパーク 収支予算書

(単位：千円)

	第23期 実績	第24期 実績	第25期 計画	前年比較
売上	17,398	18,400	18,379	-21
期首在庫	308	396	300	-96
商品仕入高	4,014	4,052	4,182	130
期末在庫	396	300	300	0
売上原価計	3,926	4,148	4,182	34
売上総利益	13,472	14,252	14,197	-55
人件費	10,524	10,523	9,648	-875
販売管理費	4,164	4,899	4,540	-359
一般管理費計	14,688	15,422	14,188	-1,234
営業利益	-1,216	-1,170	9	1,179
営業外収益	70	781	70	-711
営業外費用	0	0	0	0
経常利益	-1,146	-389	79	468

4. 匹見中央公園の第25期基本計画

◆ 重点計画

- ・ 宿泊施設である匹見峡温泉、匹見峡レストパークと連携を取り、合宿など滞在型の利用で営業活動を行っていく。
- ・ 野球場については整備状況が良く、安価である事、またサブグラウンドとして多目的広場が使えるなど、利便性をアピールして少年野球大会や対抗試合の誘致など行っていく。

◆ 平成30年度 数値計画

	第24期 実績	第25期 目標	備 考
グランドゴルフ	1,332人	1,400人	匹見峡温泉、匹見峡レストパークと連携し、県外の学校やスポーツ団体、大学サークル等へ合宿・交流試合等提案し利用者の拡大を図っていく。
野球場	2,615人	2,600人	
テニス	594人	600人	
多目的広場	1,382人	1,400人	

◆ 匹見中央公園 収支予算書

(単位：千円)

	第23期 実績	第24期 実績	第25期 計画	前年比較
売上	16,116	16,104	16,033	-71
期首在庫	0	0	0	0
商品仕入高	0	0	0	0
期末在庫	0	0	0	0
売上原価	0	0	0	0
売上総利益	16,116	16,104	16,033	-71
人件費	9,809	9,797	7,599	-2,198
販売管理費	6,028	6,142	8,434	2,292
一般管理費計	15,837	15,939	16,033	94
営業利益	279	165	0	-165
営業外収益	0	0	0	0
営業外費用	0	0	0	0
経常利益	279	165	0	-165

株式会社ひきみ 収支予算書

(単位：千円)

		第23期 実績	第24期 実績	第25期 計画	前年比
収入	売上高	140,439	135,817	154,734	13.9%
	受取委託料	36,627	36,635	36,627	0.0%
売上合計		177,066	172,452	191,361	11.0%
支出	期首商品棚卸高	4,230	3,869	3,236	-16.4%
	商品仕入高	41,517	42,246	45,459	7.6%
	期末商品棚卸高	3,869	3,236	3,236	0.0%
	仕入合計	41,878	42,879	45,459	6.0%
売上総利益		135,188	129,573	145,902	12.6%
管理費	人件費	82,329	79,834	79,393	-0.6%
	販売管理費	61,874	69,365	66,337	-4.4%
	一般管理費計	144,203	149,199	145,730	-2.3%
営業利益		-9,015	-19,626	172	100.9%
営業外	営業外収益	1,803	1,978	1,570	-20.6%
	営業外費用	5	6	10	66.7%
経常利益		-7,217	-17,654	1,732	109.8%

第 24 期

決算報告書

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

商 号 株式会社 ひきみ

本店所在地 益田市匹見町匹見イ713

貸借対照表

商号 株式会社 ひきみ

代表者 松本 亨

平成30年 3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産 (	16,949,067)	I 流 動 負 債 (	19,522,140)
現 金 ・ 預 金	9,341,488	買 掛 金	3,339,550
売 上 掛 金	2,048,132	未 払 金	15,309,735
た ぎ 金	3,264,285	未 払 人 税 等	207,755
前 払 費 入	919,369	未 払 法 人 税 等	208,500
未 収 替 入	1,384,309	未 払 消 費 税 等	403,200
未 収 還 付 法 人 税 等	13,465	未 払 入 湯	53,400
未 貸 倒 引 当 金	19		
	△ 22,000		
II 固 定 資 産 (	4,801,834)	II 固 定 負 債 (	9,666,288)
有 形 固 定 資 産 (	3,844,334)	長 期 借 入 金	7,200,000
建 物 附 属 設 備	442,719	長 期 未 払 金	2,466,288
車 両 ・ 運 搬 具	1,472,248		
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	23,822,014		
リ ー ス 資 産	27,968,284		
減 価 償 却 累 計 額	3,114,000		
	△ 52,974,931		
		負 債 の 部 合 計 (	29,188,428)
無 形 固 定 資 産 (	0)	(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本 (	△ 7,437,527)
		1. 資 本 金	68,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (	0)
		3. 利 益 剰 余 金 (	△ 75,437,527)
		(1) 利 益 準 備 金	
		(2) そ の 他 利 益 剰 余 金 (	△ 75,437,527)
		別 途 積 立 金	2,500,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 77,937,527
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (	0)
		III 新 株 予 約 権 (	0)
III 繰 延 資 産 (	0)		
		純 資 産 の 部 合 計	△ 7,437,527
資 産 の 部 合 計	21,750,901	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	21,750,901

損益計算書

商号 株式会社 ひきみ

平成29年4月1日から

平成30年3月31日まで

(単位 円)

科 目	金 額		
I 売上高	172,452,334	172,452,334	172,452,334
II 売上原価		3,869,476	
売上商品仕入		42,245,862	
期末仕入		46,115,338	
売上総利益		△ 3,236,224	42,879,114
III 販売費及び一般管理費			129,573,220
販売費・一般管理費		149,192,329	149,192,329
営業利益			△ 19,619,109
IV 営業外収益			
受取利息		142	
雑収入		1,977,531	1,977,673
V 営業外費用			
支払利息		4,378	
雑損失		1,260	5,638
経常利益			△ 17,647,074
VI 特別利益			
貸倒引当金戻入		15,000	15,000
VII 特別損失			
貸倒引当金繰入		22,000	22,000
税引前当期純利益			△ 17,654,074
法人税、住民税及び事業税		208,500	208,500
法人税等調整額			
当期純利益			△ 17,862,574

販売費及び一般管理費の計算内訳

商号 株式会社 ひきみ

(単位 円)

平成29年 4月 1日から

平成30年 3月31日まで

科	目	金	額
役員料	報酬		550,000
役給			37,700,144
雑法			32,412,934
厚定	福利		9,170,806
新	厚生		1,457,557
サ	図書		12,963
広	広告		2,796,884
会	宣議		3,350,708
支	手交		4,113
旅	通		107,581
通	信		20,076
交	際		1,142,907
減	償		120,667
賃	借		759,681
修	繕		2,470,647
保	險		1,287,870
租	税		616,700
水	道		781,516
車	兩		29,888,492
環	境		2,813,699
寄	衛		3,152,882
消	付		1,000
販	耗		3,510,557
支	促		1,451,490
保	委		4,286,280
諸	管		6,498,200
燃	会		90,100
維	料		1,766,894
			968,981
合	計		149,192,329

たな卸資産の計算内訳

平成30年 3月31日現在

科	目	金	額
商貯	蔵品		3,236,224
			28,061
合	計		3,264,285

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 ひきみ

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月31日まで
(単位 円)

I 株 主 資 本		当期首残高	65,000,000	
I. 資 本		当期変動額	3,000,000	
		当期末残高	68,000,000	
2. 利 益 剰 余 金		当期首残高	2,500,000	
(1) その他利益剰余金		当期変動額	0	
別 途 積 立 金		当期末残高	2,500,000	
繰越利益剰余金		当期首残高	-60,074,953	
		当期変動額		
		当期純利益	-17,862,574	-17,862,574
		当期末残高	-77,937,527	-77,937,527
その他利益剰余金合計		当期首残高	-57,574,953	
		当期変動額		
		当期純利益	-17,862,574	-17,862,574
		当期末残高	-75,437,527	-75,437,527
株 主 資 本 合 計		当期首残高	7,425,047	
		当期変動額	3,000,000	
		当期純利益	-17,862,574	-17,862,574
		当期末残高	-7,437,527	-7,437,527
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		当期首残高	0	
		当期変動額	0	
		当期末残高	0	
III 新 株 予 約 権		当期首残高	0	
		当期変動額	0	
		当期末残高	0	
純 資 産 の 部 合 計		当期首残高	7,425,047	
		当期変動額	3,000,000	
		当期純利益	-17,862,574	-17,862,574
		当期末残高	-7,437,527	-7,437,527

個別注記表

商号 株式会社 ひきみ

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月31日まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しております。
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
3. 固定資産の減価償却方法
 - (1)有形固定資産
定率法(旧定率法)を採用しております。
ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法(旧定額法)を採用しております。
 - (2)リース資産について、リース期間による定額法を採用しております。
4. 収益及び費用の計上基準
収益及び費用については、一会計期間に属するすべての収益とこれに対応するすべての費用を計上しております。
原則として、収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しております。
5. 引当金の計上基準
 - (1)貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。
6. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 1,360株

III. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり当期純利益は、△13,134.24円であります。
2. 一株当たり純資産額は、△5,468.76円であります。

以上